



## 2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月10日

上場会社名 タピオ 株式会社  
 コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 越智 勝寛  
 (氏名) 谷川 繁  
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	11,392	4.0	162	49.0	171	47.8	57	70.3
2019年2月期第3四半期	11,864	1.1	317	19.2	327	16.9	193	486.8

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 45百万円 (76.0%) 2019年2月期第3四半期 189百万円 (155.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	8.46	
2019年2月期第3四半期	28.41	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第3四半期	9,277	5,720	61.7
2019年2月期	9,166	5,900	64.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 5,720百万円 2019年2月期 5,900百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		30.00	30.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,982	3.1	391	35.5	406	34.6	167	54.2	24.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	6,813,880 株	2019年2月期	6,813,880 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	21,262 株	2019年2月期	1,862 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	6,800,988 株	2019年2月期3Q	6,812,048 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年11月30日)における国内経済におきましては、堅調に推移する雇用情勢や所得環境が支えとなり、引き続き緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、消費税増税や相次ぐ自然災害による消費減退リスク、長期化する米中貿易摩擦による外需の縮小等、先行きが不透明な状況は続いております。

国内衣料品販売におきましては、EC販売は依然として拡大が続く一方で、実店舗は店頭販売員や商品を通じて得られる体感を提供する場として、ファッション消費には欠かせない存在になっています。また、購買の判断基準として、高機能や高付加価値等を重視する傾向が強まっており、ブランドの根幹を磨き上げながら、新たな市場ニーズを掘り起こしていく商品を市場に投入していくことが求められております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、引き続き好立地・高効率小型店舗の開発を進めていくと共に、タブレット端末を使った「Tabio SEARCH」システムのスマートフォンへの拡充や、専門店としてあるべき商品構成の見直し等、既存店舗の更なる強化も進めて参りました。また、本店ECサイトでは、サイト改修や各種販促を行うなど、お客様にお買い求めいただきやすいサービス内容を模索して参りました。

「ショセツ関連部門」における「ショセツ事業」では、ラグジュアリーな立地での『Tabio』店舗の出店や、レディース・メンズの複合型ショップの構築に加え、お客様一人一人に合わせた商品提案を行うコンシェルジュサービスを試行する等、『Tabio』ブランドの向上に向けて尽力致しました。さらに、『靴下屋』店舗と同様に、店頭のオムニチャネル化を推進し、お客様の利便性を最大化することに尽力して参りました。また「紳士靴下事業」では、紳士靴下専門店『Tabio MEN』を中心に、「メンズソックス」を当社の新たな柱となる商品にすべく、『靴下屋』『Tabio』店舗における既存メンズ売場のリニューアルを行うと共に、法人向け提携販売や親和性の高いメンズブランドとのコラボレーションをスタートさせる等、新たな販路確立に向けて取り組んで参りました。

海外展開につきましては、欧州事業において、新規出店やECサイトの運営強化に加え、従業員の士気向上を目的とした施策や社員教育等を充実させることにより、既存店舗のテコ入れに取り組んで参りました。また、米国事業については、引き続き認知度向上と新規ユーザーの獲得を図るべく、新たな現地パートナーとの提携や、現地でのコラボイベント開催、ファッション雑誌への商品提供等を行って参りました。

出店状況におきましては、フランチャイズチェーン店5店舗、直営店10店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店2店舗、直営店5店舗の退店により、当第3四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店93店舗、直営店181店舗(海外5店舗を含む)、合計274店舗となりました。

利益面におきましては、第2四半期において、連結子会社の退職給付制度移行損失39百万円を特別損失として計上致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,392百万円(前年同期比4.0%減)、営業利益は162百万円(前年同期比49.0%減)、経常利益は171百万円(前年同期比47.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円(前年同期比70.3%減)となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期(3月～8月)に比べ下半期(9月～2月)に販売される割合が大きくなっております。従いまして連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金1,198百万円が減少しましたが、売掛金703百万円、商品402百万円、有形固定資産のその他126百万円、無形固定資産76百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて110百万円増加し、9,277百万円となりました。

負債については、未払法人税等189百万円、電子記録債務187百万円、賞与引当金98百万円が減少しましたが、買掛金532百万円、流動負債のその他261百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて290百万円増加し、3,556百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて179百万円減少し、5,720百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の64.4%から61.7%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2020年1月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,393,547	2,195,442
売掛金	688,338	1,391,489
商品	633,505	1,035,717
貯蔵品	455	355
その他	117,857	169,920
貸倒引当金	△554	△5,087
流動資産合計	4,833,149	4,787,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	761,284	746,110
土地	1,182,654	1,182,654
その他(純額)	321,836	448,721
有形固定資産合計	2,265,776	2,377,486
無形固定資産	455,677	532,658
投資その他の資産		
差入保証金	1,379,036	1,372,690
その他	233,339	206,532
投資その他の資産合計	1,612,375	1,579,222
固定資産合計	4,333,829	4,489,367
資産合計	9,166,978	9,277,205
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	552,783	1,085,547
電子記録債務	670,707	482,747
短期借入金	124,800	94,400
未払法人税等	189,721	34
賞与引当金	127,802	29,517
ポイント引当金	26,381	41,824
資産除去債務	-	10,051
その他	655,577	917,159
流動負債合計	2,347,773	2,661,282
固定負債		
長期借入金	63,200	-
退職給付に係る負債	221,282	267,765
資産除去債務	299,092	291,164
その他	335,128	336,382
固定負債合計	918,702	895,311
負債合計	3,266,476	3,556,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,368
利益剰余金	5,391,766	5,244,960
自己株式	△1,044	△21,915
株主資本合計	5,897,935	5,730,202
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,565	△9,591
その他の包括利益累計額合計	2,565	△9,591
純資産合計	5,900,501	5,720,611
負債純資産合計	9,166,978	9,277,205

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	11,864,180	11,392,388
売上原価	5,137,750	4,933,895
売上総利益	6,726,429	6,458,492
販売費及び一般管理費	6,408,465	6,296,487
営業利益	317,964	162,005
営業外収益		
受取利息	30	76
仕入割引	8,711	8,551
受取手数料	669	196
その他	5,734	6,994
営業外収益合計	15,146	15,819
営業外費用		
支払利息	2,748	2,535
為替差損	1,995	2,938
その他	593	1,262
営業外費用合計	5,338	6,736
経常利益	327,772	171,087
特別損失		
固定資産除却損	11,653	6,864
リース解約損	-	3,528
退職給付制度移行損失	-	39,945
減損損失	16,800	7,678
特別損失合計	28,453	58,016
税金等調整前四半期純利益	299,318	113,070
法人税、住民税及び事業税	54,928	18,156
法人税等調整額	50,874	37,360
法人税等合計	105,803	55,516
四半期純利益	193,515	57,554
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,515	57,554

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	193,515	57,554
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,159	△12,157
その他の包括利益合計	△4,159	△12,157
四半期包括利益	189,355	45,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,355	45,396
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

連結子会社の退職一時金制度の確定給付企業年金制度への移行

連結子会社であるタビオ奈良株式会社は、2019年6月1日に退職一時金制度から確定給付企業年金制度へ移行いたしました。この移行に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成28年12月16日改正)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 平成19年2月7日改正)を適用しております。

本移行に伴い、当第3四半期連結累計期間において「退職給付制度移行損失」として特別損失に39,945千円を計上しております。

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。